

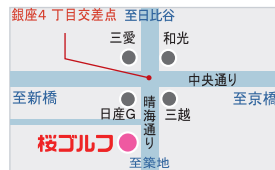


株式会社 桜ゴルフ

東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
(銀座4丁目交差点より1分)

【お問い合わせは】

0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



10月の関東圏平均相場は0.8%の上昇となりました。1月から10カ月続伸し年初比は+8.1%まで上伸しています。しかし、9月以降は売りが先行する状態となり、値下がりする価格帯も出始めました。10月は、年会費負担を避ける個人の処分と法人の保るコース見直しの本格化で、低額価格帯コースの売りが増え300万円以下がマイナスとなりました。

一方、中堅・高額価格帯は値上がり基調が鮮明です。総額1000万円以上が+1.4%と最も高く、500万円以上、300万円以上も高い伸びを

10月相場続伸、価格帯で明暗



草分けとしての使命をー
佐川 八重子

24年10月の価格帯別相場推移 (名変費用含む価格帯、単位: %)

価格帯	1~9月	10月					年初比
		1週	2週	3週	4週	月間	
1000万円以上	7.0	0.2	0.7	0.0	0.4	1.4	8.5
500万円以上	6.9	0.1	0.0	0.2	0.4	0.7	7.6
300万円以上	14.0	0.8	0.4	▲0.2	0.0	1.0	15.1
150万円以上	6.7	▲0.3	▲0.4	▲0.3	▲0.2	▲1.1	5.6
70万円以上	5.3	▲0.1	▲0.3	▲0.1	▲1.0	▲1.5	3.7
70万円未満	4.5	0.2	0.0	0.3	▲0.6	▲0.1	4.4
平均	7.3	0.2	0.4	0.0	0.2	0.8	8.1

関東圏平均相場 136.6万円 (10月4週、対象515コース)

~24年10月相場のポイント~

- 10月は+0.8%、年初比+8.1%で10カ月続伸
- 年会費負担を避ける個人の処分と法人の見直し本格化、低額コース処分の増加で値下がり目立つ
- 高額・中堅価格帯が値上がり、10月相場を支える
- 特に、都心コースが値上がり、リゾート人気も継続
- 例年、11月は売りが多く入会者は物色のチャンス

~入会取引の価格帯別割合のポイント~

- 最初はお手頃コースから動き出し、21年から中堅・準名門へ波及、23年以降は高額の比率が高まる
- 19年と比較して大きく比率を伸ばしたのは150~300万円未満と1000万円以上
- 150万円未満は比率低下も最多保ち、需要は健在
- 行動制限解除後も人気は継続、今後も需要は増加

さて、コロナ禍を契機とした第3次ゴルフブームは5年目に入りました。国民の健康志向は根強く、もはや、ゴルフ人気は一過性のブームでは

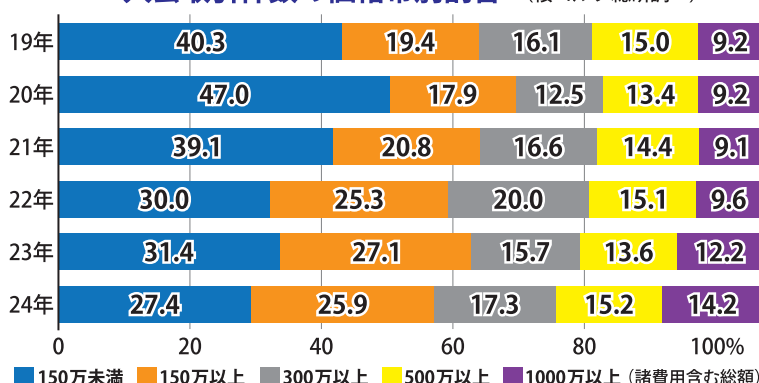
会員権の購入は 5年で大きく変化

見せ、全体相場の伸びを牽引しました。都心に近い名門の値上がりが大きく、桜ヶ丘・府中・多摩などが品薄傾向です。また、旧軽井沢、箱根、日光といったリゾートコースも未だに高い人気を保っています。例年、11月は最も市場に売りが多い時期で底値拾いの買いが活発です。入会者にとって

は最良の物色のチャンスといえるでしょう。

この第3次ブームは、ゴルフ会員権市場においても、法人の名門回帰が活発化し、個人の予算を上乗せしたクラスアップ需要を喚起させ、健全な市場を形成しています。左掲のグラフは、コロナ前の19年から24年までの、会員権購入件数の価格帯別構成比率の推移です。

入会取引件数の価格帯別割合 (桜ゴルフ総研調べ)



その結果、この5年で入会比率を大きく伸ばしたのは150~300万円未満と1000万円以上の価格帯です。大幅に縮小したのは150万円未満の価格帯です。ただし、この価格帯のコース数は全体の約6割を占めています。ブームに刺激されて始めた初心者や復活組の安定した需要は健在です。23年5月に行動制限が緩和された後もゴルフ人気が続いています。今後は、中堅・高額価格帯コースの人気と共に、ボリュームゾーンのお手頃コースの需要が増加していくと思われます。